

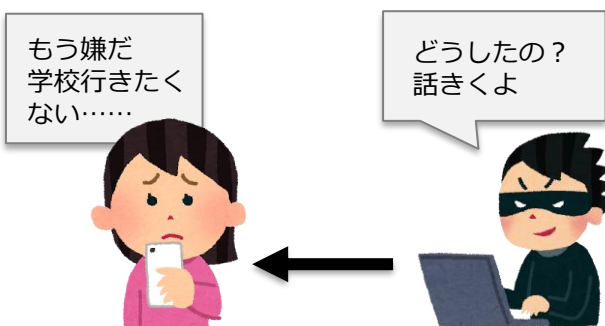
## ネガティブな感情の書き込みは、危険を招くことも……

SNS上で子どもたちがネガティブな感情を書き込んでいるのを、ネットパトロールの際によく目にします。こうした書き込みはストレス発散や、誰かに共感してほしいという思いから書き込まれたものと思われませんが、書き込みをきっかけにトラブルに巻き込まれてしまうケースもあります。

### ネガティブな感情の書き込みは、悪意のある人物の標的になる可能性が……

SNS上の書き込みは、いろいろな人が目にします。ネガティブな感情の書き込みに反感を抱くような人もめずらしくなく、そうした書き込みに対してわざわざ批判的なコメントをしたり、ネガティブな感情をあおるようなメッセージを送ったりする人も中にはいます。

そうした人物の標的になることで、もともとストレス発散を目的としてSNS上に書き込みをしていたのに、かえって気分が落ち込んで、精神的に不安定になってしまうというケースがあります。



ネガティブな感情の書き込みをすると、心配するようなやさしいメッセージを送ってきてくれる人もいますが、だからといってその相手がいい人とはかぎりません。

SNS上には、ネガティブな感情の書き込みをしている人に対して、相談に乗るふりをしてメッセージを送り、言葉巧みに誘い出そうとするような悪意のある人物もいます。そうした人物を信用して会いに行った結果、性的被害を受けたり、誘拐されたりしたという事件も実際に起きています。

### ポイント

気分が落ち込んでいるときにやさしい言葉をかけられると、この人は自分を気にかけてくれるいい人だと錯覚しやすく、メッセージを送ってきた相手を信用してしまいがちです。

インターネット上には、わいせつ行為などを目的にプロフィールを偽ったり、いい人のふりをしたりして近づいてくる悪意のある人物もいるため、どれだけ仲良くなった相手でも実際に会うと被害を受ける危険がある、ということを、繰り返し子どもたちに指導していくことが重要です。



ネガティブな感情の書き込みをすると、批判的なメッセージが送られてきたり、悪意のある人物が近づいてきたりする可能性があることをふまえて、日頃から書き込みの内容に気を配るよう、子どもたちに指導してください。